

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 治山課	記入責任者職氏名  (担当者氏名)	課長 西川 貢  (林道係長 片岡 好章)	内線	4128  (4134)
------	-----------------------	-------------------------	-----------------------------	----	--------------------

事業種目	林道整備	事業名	事業区間	総事業費	3.3億円
		流域公益保全林整備事業	田淵線	内用地補償費	-

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父市 大屋町和田	H17	H18	H26

事業目的	事業内容
<p>当地域は伐期に近づいた人工林が多く、主伐・間伐・保育等の森林施業の基盤となる路網整備の一環として森林管理道を整備するもので、森林施業の効率化を図ると共に森林資源の持続的な利用を図り、水源かん養、山地保全など森林の多面的機能の発揮と山村地域の活性化・振興を図ることを目的とする。</p>	<p>林道開設 W = 4.0m L = 3,830m  (国 50%、県1%、町49%)</p>

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	<p><b>森林整備の現況と取組み</b> 計画路線の利用区域331.77haのうち人工林が67% (221.67ha) であり、そのうち主伐・間伐等の適切な森林施業が不可欠な8齢級以上の成熟林分が50%を占めている。このため、県単独補助事業により既設林道 (3,270m) を整備し、既設作業道 (3,910m) とも連絡して、森林整備 (保育: 14.07ha、間伐: 56.22ha) を計画的に実施してきた。延べ整備面積は70.29haで、人工林の実整備率は28% (62.84ha/221.67ha)、林内路網密度は21.7m/ha(7,180m/331.77ha)となっている。</p> <p><b>森林整備の課題と推進方向</b> 利用区域は成熟林分が多く、主間伐材の伐採搬出を主とした森林施業が求められており、林内路網の整備に併せて高性能林業機械を導入し、林業生産の効率化と労働環境向上が求められている。このため、計画路線の整備 (3,830m) に合わせて作業道を整備 (1,590m) し、高性能機械 (スイングダ等) の活用による効率的な森林施業をすすめ、森林資源の持続的な利用を推進する。 また、計画路線は森林基幹道「須留ヶ峰線」と接続する計画であり、これにより効率的な伐採搬出をすることができる。</p> <p><b>必要性</b> 成熟林分が多い利用区域の森林施業を効果的に実施するには、森林基幹道を骨格とした路網の構築が重要であり、基幹道の支線となる計画路線の開設は必要不可欠である。計画路線は市の振興計画にも搭載され計画的に開設されるものであり、高い事業効果も期待できることから事業実施の必要性は非常に高い。</p>
--------	--

(2)有効性・効率性	<p>当該事業の費用便益比はB/C = 1.97で、高い事業効果が期待できる。公共事業として実施することで、充当枠の大きい一般公共事業債を充当することができ、年次計画に沿った予算配分が可能となって早期の開設効果が見込める。</p>
------------	---

(3)環境適合性	<p>地形に沿った線形とすることで切土・盛土量をバランスさせて残土を極力少なくし、切土法面も極力小さくすることができる。また、郷土樹種を使用した法面保護工等により景観・環境の維持に重点をおいた工法を用い、自然環境の保全を図る。</p>
----------	---

(4)優先性	<p>当該利用区域の森林整備を推進するために必要不可欠であり、地域森林計画・市町村森林整備計画と共に市の振興計画にも搭載され、事業計画も具体的である。また、森林基幹道の支線として計画路線を開設し、路網整備をすすめなければ効率的・効果的な森林施業は困難であることから、事業の優先性は高い。</p>
--------	---